

令和 4 年

# 第 9 回教育委員会会議録

(開会 令和 4 年 8 月 15 日)

(閉会 令和 4 年 8 月 15 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和4年8月15日午前9時10分開会

会場：市役所4階第3会議室

### 出席委員

堀部好彦君（教育長）

小栗照代君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

### 説明のために出席した者

渡辺勝彦君（事務局長）

佐野政紀君（学校教育課長）

上北泰久君（学校教育課主任指導主事）

真野純次君（学校教育課指導主事）

木村千恵君（学校教育課学校支援係）

飯田晋司君（教育総務課長）

佐藤一洋君（学校給食センター所長）

三宅愛彦君（教育研究所主任指導主事）

福田真弓君（学校教育課学校支援係長）

### 出席委員会事務局職員

木村彰伯君（教育総務課総務係長）

小池拓哉君（教育総務課総務係）

### 日程及び審議結果

1 開 会

2 教育長報告

3 教育委員報告

4 議 事

①報告第10号 県費負担教職員の懲戒処分の内申について（原案承認）

②議案第19号 教育に関する予算の意見について（令和4年度可見市一般会計補正予算（第4号））（原案可決）

③議案第20号 令和3年度可見市教育委員会事務の点検・評価について（原案可決）

④議案第21号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

5 各課所管事項

6 委員からの提案協議事項

7 その他

8 閉 会

### 開会の宣告

- **教育総務課長（飯田晋司君）** それでは、皆さんおはようございます。  
おそろいになられましたので、ただいまから第9回教育委員会会議を始めさせていただきます。
- **教育長（堀部好彦君）** おはようございます。  
第9回の教育委員会会議を開催させていただきます。  
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということによりまして、よろしくお願いをいたします。

### 教育長報告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、最初は教育長報告でございますが、幾つか報告したい点があるんですけども、コミュニケーション能力育成講座、平田オリザ先生をお招きした講座について、報告をこれに絞って、私の思いも含めてお伝えをしたいなということを思います。よろしくお願いをいたします。

この平田オリザ先生をお招きしたコミュニケーション能力育成講座は、7月29日に a 1 a で開催をしました。当初、4年目の教職員を対象に実施ということで毎年やって、大変好評の講座なんですけれども、私はこの講座に加えて、ちょっと無理を言いまして、後半の最後のところでいいので、平田オリザさんの教育観に触れる講座はできないだろうかということで、1時間ちょっと時間をつくっていただいて、平田オリザ先生に突然のお願い、これは三宅主任指導主事さんにも骨を折っていただいたんですけども、急なお願いをさせていただきました。

なぜ平田オリザさんの教育観に触れる時間をお願いしたいと思ったかということ、平田オリザさんからメールをいただいた中で、名刺を交換した方にメールをいつも送ってくださるんですけども、そのいただいた幾つかのメールの中に、平田オリザさんが学長を務めておられる芸術文化観光専門職大学というのがあって、この大学の入学式の式辞の原稿をメールでいただきました。大変私感動しまして、オリザさんの教育観を感じました。文化芸術の創造をお仕事、なりわいとしておられるオリザさんが、そういった世界の中から培われた教育観、すばらしいなあと、その教育観を学んでほしいと思い、平田オリザさんに講師としてお願いをしたわけですが、私がオリザさんの教育観ですばらしいなあと感じたこの式辞なんですけれども、その式辞を今一部読ませていただきますので、教育委員の皆さん、どんなオリザさんの教育観を感じられますか。聞くことは、当然そんなやばなことはしませんけれども、感じながら聞いてほしいなあと、思います。

去る2月24日、ロシア軍がウクライナの領土に侵攻を始めました。戦闘は長期化し、今も続いています。3月25日には、マリウポリの劇場も空爆を受けました。多くの観光客を集めてきた黒海沿岸の保養地や、中心市街地が世界遺産にも登録されている西部の都市リヴィウも空爆の危機にさらされています。観光とアートを学ぶ芸術文化観光専門職大学の学長として、一刻も早い平和の到来を願わずにはいられません。それは、単に観光もアートも平和あってこそそのものだという点にとどまりません。皆さんは、これか

ら観光学の様々な講義や実習の中で、どうすれば多くの観光客を日本に呼び込み、たくさんのお金を使ってもらえるか、どうすれば経済活動を盛んにしていけるかを学ぶことになるでしょう。しかし、観光はただ経済のためだけのものではありません。海外からたくさんの方々に日本に来ていただき、日本の多様な文化を知っていただき、そして日本というのはすばらしい国だなあ、こんな国とは戦争をしてはいけないなあと世界中の方々に思ってもらわなければなりません。芸術文化も同様です。日本の芸術を海外に紹介するのは、日本人が何に悩み、何に苦しみ、何に喜んできたのかを世界の人々に伝えることにほかなりません。もちろん逆のことも言えるでしょう。皆さんはこれから旅行や実習、そして演劇作品の共同制作などを通じて海外に出かけていくことになります。そこでは多様な文化を吸収し、様々な民族の歴史や価値観に触れることになるでしょう。そして、世界中に多くの友を持つことになるでしょう。軍事力や経済力といった目に見える力以外に、国家が後押しし得る外交力のことをソフトパワーといいます。観光と芸術は日本が有する最大のソフトパワー、安全保障の一環です。皆さんのこれからの学びの一つ一つが、皆さんの活動の一步一步が世界平和に貢献するのだということを強く意識し、高い自負を持って勉学に励んでください。

これが今年4月のオリザさんの入学式式辞です。芸術文化が持つ力、値打ちを教育の観点から捉えて学生に訴えている。大変私は感動しました。すばらしい文章ではないかなあと思っています。

今日は8月15日、77年前、終戦の日を迎えたこの日に、あえてこの文章も紹介をしたいなあとということを思いました。私たちは教育に携わる者として、平和に対する強い願いを持つことはもちろんのことなんだけれども、子供たちに平和をどう教えていくのかだとか、平和な世の中を維持していくためにどうあるべきなのかということ、身をもって示しながら指導していく立場ではないかなあと思っています。本当に心から、偉そうな言い方かもしれませんが、本当にそうやって思っています。

そういったことから考えると、私たちが今訴えている未来の笑顔につながる笑顔の“もと”は、平和じゃないでしょうかね。平和は笑顔の“もと”だと思います。そういった世の中をつくっていくために、教育委員会として何ができるだろうかということを考えていきたいですし、子供たちにも平和をつくっていく、担う一員として自分がどうあるべきなのか、主権者教育にもつながることかなあとということも、そんなことを子供たちにもつながっていききたいなあなんていうことも思いながら、今日お話をさせていただいております。

また小栗さん、FMららで笑顔の“もと”ロゴマークの投票について話題にさせていただいて、呼びかけていただいたということをお聞きしました。本当にありがとうございます。この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

今日申し上げたいことは、教育委員として、または教育委員会事務局の職員として、平和についての考えを持つ。憲法改正のことも話題に上がってきています。それについての考えを持つ。教育委員会としてこうだとかいうことは、またいろいろ差し障りが出てくるだろうけれども、教育に携わる者として自分の考えを持つということは、とても大切ではないかなあと話をしていただいております。

最後に、机上に「えがおの“もと”」という便りを置かせていただきました。これは、私、今渡南小学校校長のときに職員に出していたものです。笑顔の“もと”というタイトル、このときから使っていたんだけど、ここで紹介をしているのは忠魂碑のことです。今渡南小学校の北側に忠魂碑というものがあります。これは、明治維新以降の戦争や事変に出征して戦死した方々の慰霊碑として全国に建てられたもののうちの一つで、今渡南小学校の北側にあるものは、下恵土、今渡、川合の戦没者のお名前が刻まれた忠魂碑です。私は、この忠魂碑にいつの頃からか手を合わせて、感謝の気持ちを持って、こういった方々の平和に対する気持ちを忘れちゃあかんなあと思いながら手を合わせておったものですが、このときには、こういった私の思いも紹介しながら、そのことと郷土や国を愛する心、愛校心についての私の考えを、拙い教育観なんですけれども、伝えたものです。忠魂碑というのは広見小学校の近くにもありますね、広見地区の。広見小学校を左手に見て、下り坂があります。そのときの右側にある。あれは広見地区の忠魂碑です。大体が学校の近くにある。これはいろんな意図があったんでしょうけれども。

私は、とにかく今日お伝えをしている平和についての考えを持ちましょうよという思いをお伝えしたかったので、ほかにも報告すべきことがいろいろあるんですけども、これに絞ってお話をさせていただきました。どうかよろしく願いいたします。

#### 教育委員報告

○ 教育長（堀部好彦君） それでは、教育委員の報告に移りたいと思います。

○ 教育委員（丹羽千明君） おはようございます。

報告させていただきます。

まず、先ほど忠魂碑について教育長さんが話していただきましたけれども、私もすごく思い入れがありまして、この小学校に通っておりまして、その裏に172名の亡くなった方の名前が彫ってありますけれども、私の父がそれを書いたものですから……。

○ 教育長（堀部好彦君） それは大変失礼をいたしました。

○ 教育委員（丹羽千明君） いえいえ。丹羽利夫書というのが最後に書いてあるんですけども、この中で生きているのは俺だけだぞというようなことを父から聞いた覚えがありますので、それ以来、前を通る、車で通ったときは止まりませんが、小学校のこの近くに行ったときは手を合わせるようにしております。平和が大変貴重なものだと思っております。

それから、笑顔の“もと”ロゴマークの選考投票ということで、明日16日まで市役所とa1aで投票、あとネットで投票できるということですが、私も直接見たほうがいいかなと思ひまして、a1aのほうで作品を見せていただいて、投票させていただきました。このような形で、市民の方に関心を持っていただくとすごくいいなと思ひました。

それから、各地区の夏祭りが、中止のところもありますけれども、大きなところで美濃加茂の花火がありましたし、昨日、可児夏まつりが盛大に行われまして、3年ぶりということで、コロナ対策もしながら日常が少しずつ戻ってきたらいいかなあと思ひました。子供の参加としては幾分少なかったかなあというふうには見えましたが、天気も予報ほど悪くなく実施できてよかったと思ひしております。以上でございます。

○ 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。

忠魂碑の刻まれた名前はお父さんのものであるということを教えていただいて本当にありがとうございます。私は、当時6年生担任2人を呼んで、あそこの忠魂碑まで連れて行って、裏に、背面に書いてある名前は地域の方々の戦没者のお名前なんだと。6年生の歴史でやりますよね。戦争について学ぶので、子供たちをここに連れてきて、こういった名前、もしかしたらひいおじいちゃんか、その上のひいひいおじいちゃんか分からんけど、名前があるかもしれないんだよということで話をした覚えがありますけれども、大変貴重な慰霊碑ですよ。いいお話をお伺いしました。全く存じ上げませんでした。ありがとうございます。

○ **教育委員（小栗照代君）** おはようございます。

今日はずみません、皆さん早く集まっていたのに、私のほうが遅れまして申し訳ございませんでした。

この期間の教育委員としての行事はなかったんですけども、幾つかちょっと今後気をつけなければいけないなということがありましたので、ちょっと気になったことをお伝えしたいなと思います。

今年、可児市ではプールはなかったんですけども、全国的には3年ぶりに学校の授業などで水泳の授業があったりというようなところもあるということで、そこでいろいろネットなどでも問題点が上げられて、3年ぶりということもあると思うんですけども、例えばジェンダーレス水着というのが今年は話題になってきて、それを学校として認めたり、それを制服にするというようなところも現れてきているというようなことがあります。これは、多分来年可児市がプールを始めると、そういった問題も出てくると思うんですが、それよりも先行して、今全国的にそういったことが話に上がっているのであれば、どういう対策をして、どういったことを学校に事前にお伝えして、そういったジェンダーなどについての話を、しっかりと今のうちに進めていただければいいのではないかなあと考えています。

今、本当に男子も女子も、制服もそうなんですけれども、同じ服を着ましょうということで、特に水着に関しては、水着になるのが嫌で授業を受けたくないというようなお話も聞いたりしますので、こういったものを検討していくのがいいんじゃないかなあと思います。

あと、ちょっと可児市の状態が分からないんですけども、例えば着替えで、小学校の低学年で男女を一緒にしているというところも全国ではあって、それが嫌でプールに参加したくないとか、泣いてしまったというようなニュースもありますので、こちらはもうもちろん小学校1年生のときから男女をしっかりと分けて、スペース的な問題とかというのものもあるかもしれませんが、その辺りのところも今問題に上がっている、3年ぶりにプールが始まって問題に上がっているところを、可児市としては来年うまくスムーズにいけるような形で今検討していただければいいかなと思いました。

それともう一つ、幾つかあるうちの一つなんですけれども、今、高校野球などが行われていまして、スタンドで野球の部員の人たち、それは要するにレギュラーになれない人たちが応援をしていると。それが、スタンドで一生懸命応援しているのが美談だというふうに今までは言われてきたんですけど、本当にそれが美談なのかどうかというような問題提起の文書を見つけました。

実際試合に出ることによって、スポーツの喜びであったりとか、学ぶところであったりとか、失敗したらこうしよう、こうしたほうがいかなとかスポーツを通じて人間形成がされてくると思うんだけど、試合にずうっと出られないで3年間練習だけして応援をするということ、本当に美談で押さえておいていいのかということです。例えば高校ですと、自分で好きで高校に入ったんだろうというところがあるかもしれないんですけど、部活であったりとか、スポ少であって、ずうっとなかなか上位になれなくて、ずうっと試合に出られなくて練習だけしてきたというようなこともやっぱり出てくると思いますので、そういったところも、今後世の中の流れとして変わっていかねばいけないんじゃないかなと思います。

これは一つの例として出ていたんですが、ちょっとどこの国か忘れたんですけど、外国とかですと、レベルに合わせて、選手として出られるところに点々と替わるような仕組みができています。ですから、そういうことも考えて、一つの案としてそういう方法もあるのかなあと思ったり、あと我が子のことなんですけれども、毎日きつい練習の部活動をするのが嫌だと。ずうっとそれは言っていて、例えば短時間であったりとか、週に3日ぐらいで気軽にできるような部活があったら、もっとどんどん参加する人も増えたりとか、自分も気兼ねなく、運動不足の解消みたいな感覚でできるのになあというのは、今はもう19歳になったんですけれども、ずうっとそれは昔から言っていたので、そういうような形でみんなが楽しく運動ができるという方法も、何かしらできるような世の中かというと、可児市になっていくといいなあなんていうことをふと思ったものですから、今日ちょっとお話しさせていただきました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** いろんな話題を提供していただきまして、ありがとうございました。

水泳指導については、丸々この3年間プールの使用がされていないということで、まず施設管理面から教育総務課は本当に早い動きをつくってくださって、掃除が大変なんです。通常、それぞれの学校で6年生の児童と教員の先生方でやってもらっているんですけど、これはもうこれだけ使っていないから大変だということで、業者をお願いをして掃除をしております。今後2年、3年と使っていない施設設備の老朽化等も心配されますので、本当にきっちり使えるかどうかということも確かめながら、そして水泳指導を2年、3年やっていない先生方に、もう一回命を守るというところから、大切ですからね。そういった点も指導の見直し、準備をしていくということも大切かなあ。それに加えて、今、小栗委員さんが言ってくださった点も考えていくべきものなのだろうなあということも思いました。ありがとうございました。

それと部活動についてなんですけれども、文化スポーツ課が休日のことも含めた部活動改革について話を進めてくださっております。考え方、理念は2つです。

1つは、少子化等が進む中で、子供たちに多様なスポーツに触れる機会を提供するにはどうしたらいいだろうかと。人数少なくてチームつくれませんという状況が今いろんなところで出てきていると。そのために、多様なスポーツを提供する機会、提供できるようにするためにはということが一つの理念。

もう一つは、教師の働き方改革という点で土・日の指導等も含めたもので、外部指導者をどう位置づけるかなんていうところが2つ目の理念になっていくわけなんですけれども、

そういった部活動改革が進んでいる中ですので、今のようなスポーツについての子供たちのニーズも捉えながら、どう教育委員会として学校を指導していくかというところの視点かなということも思いました。ありがとうございました。

○ **教育委員（長井知子君）** おはようございます。よろしくお祈りします。

教育委員としての活動は特にありません。夏休みに入り、ニュースでは川の事故や海の事故がよくありますけれども、可児市では特に子供の事故を聞くことなく、ほっとしています。

あと昨日お祭りがありましたが、今日この会議に来るときに、駐車場に多分昨日のお祭りに携われた方がいらっしゃって、これからきっと細かいところの掃除だとかをされるんだろうなと思って見ていました。何でもそうですけれども、イベントや行事が行われるということは、その裏で動いてくださっている方々がいるので、そういうことが成立しているということをお忘れにはいけないなと改めて思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

お祭りができてよかったなということをお祈りしております。おっしゃるとおりで、支える人々へのまなざしということも私たちは忘れてはいけないし、そういうことを子供たちに、いろんな場で支えるということをお祈りしていきなさいなあとというふうに思います。

今年は何だけやられたか分からないですけれども、中学生のボランティアをお祭りに募集してということなんですけど、今年はやられていないんですかね。募集はしていないんじゃないかなあとというふうに思うんですけど、可児市の子供たちはボランティア活動、積極的に参加します。これは調査の結果、はっきりしている。全国のレベルよりもはるか上を持っている。非常に支えることへの意識が高い子供たちなんですけれども、そういったイベントのボランティアが通常にまたやれるような動きも出てくると、さらにいいんじゃないかなあとお聞きしました。ありがとうございました。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしくお祈りいたします。

私も教育委員としての活動は特にありませんでした。

保護者としてなんですけれども、7月下旬から8月上旬にかけて、子供と一緒に高校の説明会のほうに参加してきました。コロナ禍のため、ちょっと前ですと、本当に縮小してやれたりとか、やれなかったところもあったそうなんですけど、今年は久しぶりに以前のような大規模な説明会を実施するに至ったという学校もありましたし、そういうところもあれば、保護者の都合とかは関係なくて、子供だけの出席という学校もあって、いろいろだったんですけれども、説明会に行く前に、説明会に出席するという子供たちがどこを見に行くかという申込みをしなければいけないんですけれども、その申込みをする時点で、コロナ前と変わっているところがあって、今までですと、上にも子供がいるので、どうしても比較の対象があったんですけど、今まで中学校で全部受けて、中学校の先生がまとめて高校に申込みをしていたんですけど、今年から個人で申込みをするということで、各自自分たちが行きたい、見たいところをネットとかで申し込んで、うちの中学校、多分統一されていると思うんですけど、中学校に最終的に自分が行くところを記載した書類を提出して、今度学校側が各高校に本当に申込みができているかとか、やっぱり埋もれることもあるかもしれないということで確認していただけたという形を取っていました。

以前は、説明会の当日には、担当の先生が朝、高校までお越しになり出欠を取って、来ているか来ていないか確認をされていたんですけど、今回はそれはなしで、本当に大分変わったなあというのを感じました。でもそれはコロナ禍ということをきっかけに、言い方がちょっと悪いかもしれないですけども、省けるものは省く、先生たちの貴重な時間も、初めてそういうことを体験する保護者だったりとか子供にとっては、やっぱり先生がいることというのはすごく安心があるんですけども、でも本当に思ったんですけど、土・日なのに先生たち、ちょっとの時間に来ていただいて、すごい大変だし、先生も平日だと学校があるんでしょうけど、土・日だとすごく大変だなあというのを感じていたので、コロナ禍という状況が、仕事だったりとか、働き方に少しの変化ですけども、もたらしたことはいいきっかけだなというのを感じて過ごしてきました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** なるほど、ありがとうございます。

説明会だとか、入試も含めてなんですけど、確かに今言われるように大分変わってきているところがあるんですよ。子供たちの主体性をより引き出したい、大切にしていきたいというような意図もあるんだろうし、あとこれは他県に比べたら岐阜県はこれまで丁寧でした。他県ではやっていません。全て保護者・子供が自分たちでやっているというような、全部が全部そうではないかもしれませんが、近辺の県の状況を見ますと、岐阜県はこれまで丁寧だなあということは思っております。ありがとうございました。

## 議事

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、次に議事に入ります。

- **事務局長（渡辺勝彦君）** それでは、議案書を御覧ください。

表紙の裏ページの目次のとおり、本日は報告が1件、議案が3件です。

報告第10号 県費負担教職員の懲戒処分の内申について、議案第19号 教育に関する予算の意見について（令和4年度可児市一般会計補正予算（第4号））、議案第20号 令和3年度可児市教育委員会事務の点検・評価について、議案第21号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上4件についてよろしくお願ひします。

- **教育長（堀部好彦君）** 報告第10号 県費負担教職員の懲戒処分の内申について、議案第19号 教育に関する予算の意見について（令和4年度可児市一般会計補正予算（第4号））、議案第21号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、その他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、意思形成に関する案件や、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの件については非公開といたします。

議案第20号 令和3年度可児市教育委員会事務の点検・評価についてを議題といたします。

- **教育総務課長（飯田晋司君）** 議案書の4ページを御覧ください。

議案第20号 令和3年度可児市教育委員会事務の点検・評価について。

令和3年度可児市教育委員会事務の点検・評価を別紙のとおり決定する。令和4年8月15日提出、可児市教育長 堀部好彦。

この前の教育政策会議におきまして、教育委員さんから御意見をいただいた後、各担当課で見直しを行いまして、本日最終的な報告書として別紙1、冊子状になっておるかと思えます。こちらを提示させていただくものでございます。また修正点につきましては、別紙1参考資料としてA4横の表になったものにまとめておりますので、こちらも御用意をお願いいたします。

それでは、別紙1. 報告書の21ページをお願いいたします。

施策名が2. 国際理解教育の充実と多文化共生教育の推進でございますが、これの下の方の今後の方針の欄の①を委員の皆様の御意見を基に修正させていただいたというものでございます。修正内容につきましては、一覧表の2段目でございますが、こちらのほうに修正前・修正後として対比して書かせていただいております。

続きまして、報告書28ページから29ページにわたっております施策名3. 学校施設環境の整備、管理のメインの部分の施策の実施状況及び成果欄の29ページですけれども、委員さんの御意見を基に、一覧表3段目のとおり修正をさせていただいたものでございます。兼山小学校の特性を生かした教育の実施というところを加えた形に修正をしております。

続きまして、30ページをお願いいたします。

4の一人一人に寄り添った支援の充実の施策の実施状況及び成果欄の一番下の部分です。委員さんの御意見を基に、不登校児童・生徒への支援について追加の記載を行っております。内容につきましては、一覧表の修正前と修正後のところ、修正前はなしなんですけれども、こういった形で追記をしたということでございます。

そのほかにつきましては、特に大きな修正はございませんで、語尾の修正とか、統一など軽微な修正を行っております。

以上、提示させていただいた報告書のとおり修正いたしましたので、教育委員会として最終的な報告書として決定をお願いするものでございます。

なお、本日議決していただきましたら、8月23日から始まる可児市議会第5回定例会に報告するとともに、市のホームページにアップして市民に公表してまいります。以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

#### 各課所管事項

○ **教育長（堀部好彦君）** 続いて、各課所管事項に入ります。

○ **事務局長（渡辺勝彦君）** それでは、私からは議会の関係の話を説明いたします。

第4回の臨時議会が8月5日に開催されました。毎年のことですが、議長・副議長、各委員会の構成メンバーが交代されました。これまで山田喜弘さんが議長でしたが、板津博之さんに交代をされました。副議長については、山根一男さんから天羽良明さんに交代をされております。各委員会の構成メンバーが交代しましたが、教育委員会に關係する教育福祉委員会につきましては、委員長は引き続き川合さんが委員長ということで替わっておりません。

それから、第5回の定例会が8月23日から9月27日まで、会期を36日として開催される予定です。本日提案をされております第19号議案、補正予算ですが、市議会の議案として上程する予定でおります。一般質問については、9月1日、2日を予定しております。よろしくお願いいたします。

それから、ニュースでも御存じのように、新型コロナの陽性者がずうっと増えてきておりまして、最高になってきているという状況です。これを受けて、岐阜県としては岐阜県B.A. 5対策強化宣言というものを8月5日に発令をして、これは8月21日までということになっております。愛知県などではさらに8月いっぱいまで延ばすというようなこともありますので、岐阜県も同じ動きとなるかもしれません。この宣言の内容としましては、陽性認定の簡素化とか、岐阜県の陽性者登録センターを開設したりとか、保健所の業務が非常に逼迫しているので、そういった負担軽減とか、ワクチン接種の加速化といったものが示されております。

こういった状況も受けて、可児市としても独自の取組として、既に可茂保健所には1人の職員が派遣されておりますが、さらに1名追加の派遣をします。また本日から8月31日まで自宅療養者の支援ということで、2人1組で市内を7エリアに分けて支援チームを編成して対応していくということで、70歳以上の高齢者で単身世帯であるとか、高齢者のみの世帯の方々に自宅へ訪問して安否確認をしたりとか、希望に応じて食料配付というようなことを市全体で行う予定です。教育委員会も毎日1人ずつの計算で職員を派遣して対応する予定です。よろしくお願いいたします。

私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育総務課長（飯田晋司君）** 私からは報告と御案内、それぞれ1つずつでございます。報告のほうですけれども、先ほど来委員の皆様からもお話しいただいておりますように、笑顔の“もと”ロゴマークの投票につきましては、投票への御協力、また周知啓発等ありがとうございます。明日までの期間で、市役所、a1a、ウェブ投票を行っております。本日現在で、ウェブ投票で607票の投票がございました。2か所の投票箱については、まだ開けておりませんが、紙が入っておるのを上から確認はしております。今後、数点の優秀作品を選出した上で、8月30日に選考会を開催する予定でございます。これには、丹羽委員さんにも選考委員として御参加いただきたいということをお願いしております。そこで最優秀作品を決定して、ロゴマークとして使用していくという方向で事務局のほうは動いておりますので、御承知おきください。

これは御案内でございます。先週、本日の会議資料をお届けした際の案内文書にも記

載しておりますが、本日この教育委員会会議終了後に、委員の皆様にもちょっと残っていただきまして、9月13日の総合教育会議のことについて打合せを行います。それから9月8日に視察研修を計画いたしましたので、その説明、御案内をさせていただくという予定でありますので、よろしくお願ひいたします。以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校教育課長（佐野政紀君）** お願いします。

7月26日以降の学校に関わる動きをまずお伝えさせていただきます。

7月21日より小・中学校は夏季休業に入っています。今日で26日目です。残り2週間となりました。学校の始まりは8月29日からです。

昨年度ですけれども、部活に関わって中体連の報告会を行いました。東海大会や全国大会に出場が決まった生徒を集めて、教育長より激励するとともに、それぞれの思いを語っていただく会を位置づけていました。今年度は、コロナの状況が心配な様子でしたので、該当する学校には教育長から激励文を送らせていただき、所属の校長より代読いただきました。個人として目指す記録を意識している生徒や、仲間との関わりが成果につながっていると語る生徒、また支えてくれた親や保護者に感謝の気持ちを述べる生徒があったと報告を受けています。

コロナの情報としましては、全国や岐阜県の感染が増加している状況です。毎日のように市内の小・中学校の児童・生徒の陽性の情報がこちらのほうには入ってきています。キッズクラブであったり、それから中体連絡みであったり、家族内感染だったり、様々な要因で感染が増加しているということは可児市も同じです。全保護者に向けてですけれども、今週末に、学校始まりに向けてというタイトルで感染対策の徹底などについてのお願ひのすぐメールを出す予定です。学校の再開に向けての呼びかけを、そこでさせていただくというところです。これまでも、学校に対しては校長会などを通して、心配される児童や生徒に対しては家庭への連絡等を行い、スムーズに学校始まりを迎えられるように配慮をお願いしているところです。

特に前回もお話をさせていただきましたが、希死念慮で報告が上がってきた児童・生徒については、指導主事がもちろん可茂教育事務所に報告等をして、対応についての情報共有をさせていただいていますし、学校の生徒指導主事と夏休み開始後すぐに連絡を取り、再度定期的な家庭連絡を行い、様子を確認してもらえるように依頼をしています。中には、スクールカウンセラーの勤務形態を変えて、夏休み中にカウンセリングを設定した学校もあります。先月、教育長さんが指導いただいた案件について、再度私たちは確認をしました。希死念慮の要因については、ストレスであったり、生活の中の悩み、オーバーワーク、人目が気になる、友人が不登校、恋愛関係、過去に気持ちが低下していたときの自分を思い出したというのが希死念慮の要因になっているということです。2週間後から学校が始まりますので、再度生徒指導主事と連絡を取り、夏休み中の様子を確認するとともに、初日元気に学校に登校ができるよう一手を打ってもらえるように働きかけをしていきます。

最後に、可児市内ゾーン30について説明をさせていただきます。

別紙、カラー刷りのものですが、御覧ください。

現時点で、設定地域は今渡南小学校区と桂ヶ丘地区、ここはゾーン30が設置済みです。

令和4年度は新たに2つの地区、広見村木地区と蘇南中学校区にゾーン30プラスとして設置予定です。ゾーン30プラスとは、規制内容のところに示しましたがけれども、設定された区域内全体が30キロ制限となることに加えて、ハンプや狭窄などのハード対策を同時に行うものです。

1枚めくっていただきますと、カラー刷りで広見地区の紹介に当たる資料、もう一枚めくっていただきますと、今渡地区の紹介に当たる資料を添えさせていただきました。ゾーン30などについては、規制の関係やハード整備から、警察や道路管理者で設置されるということです。

以上、可児市内ゾーン30について、2地区が今年度に設置予定ということで動いておりますので、報告をさせていただきました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育研究所主任指導主事（三宅愛彦君）** お願いします。

では、別冊の教育研究所よりの冊子を御覧ください。

夏休みとなりまして、研究所は先生方に御参加いただく研修講座を開催しておりますので、その御報告をさせていただきます。

1枚はねていただきまして、3ページを御覧ください。

8月2日ですが、可児市初任者研修を行いました。午前中は、可児市スクールロイヤーの神内先生をお招きして、学校と保護者のよりよい関係づくり講座と題しまして、保護者対応について学びました。中には、いじめや不登校といった今日的な学校課題に対する対応についてのお話もあって、とても参考になりました。この講座は、全職員対象の夏期研修講座も兼ねていましたので、ある学校の教頭先生も御参加になったのですが、その教頭先生から、今日の研修は私のために行っていただいたようなもので本当にためになったと。夏休み明けの保護者対応に生かせるよう、学校でも職員研修等で伝えていきたいというような話をいただいたほどでした。

また、午後は会場を郷土歴史館に移しまして、吉田啓二元校長先生が職員にいらっしゃいますので、先生より可児市の歴史や文化とともに、初任者に向けて、自立する職員を目指してという題で御講話もいただきました。それぞれ研修に関する感想とともに、7月までを振り返ってという初任者の感想も下段の四角の中に載せましたので、また御覧ください。

可児市は28名の初任者全員がそろって夏休みを迎えて、初任研にも全員参加できたことがまずもってよかったなというふうに思っております。感想にもありますが、どの初任の先生も、4・5月は本当に大変だったけれども、周りの先生や子供たちの笑顔、保護者の温かい言葉に支えられて頑張ってやってこられたという感想を述べていらっしゃいました。今後も市教委として、各訪問等もありますので、初任者の先生方を支えていきたいなあということを思っております。

裏面を御覧ください。4ページです。

7月に行いました夏期研修講座の内容についてです。まだ8月にもありますが、コロナ禍のためウェブ開催とした研修もありましたが、どれもとても有意義な研修となっております。学校課題に応じた講座を来年度も開催していくために、きちんと研究所職員で成果と課題を明らかにしながら、来年度に向けても考えていきたいなと思っております。

す。

最後です。下段です。

スマイリングルーム運営委員会で、川原カウンセラーが話された不登校傾向の子供を持つ保護者へのワンポイントアドバイスです。現在、川原カウンセラーと日程調整しながら、この言葉を直接届けられるように講演会の日程を調整しておりますので、決定し次第、また御連絡いたしたいと思えます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 私からは1点ございます。

頑張れかにつこ応援給食です。先日、6月議会で補正予算を組ませていただきました。その中で、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中で頑張っている子供たちを応援するために、子供たちが笑顔になれる「がんばれかにつこ！おうえん給食」を9月15日木曜日に実施します。献立なんですけど、しょうゆラーメン、春巻、中華サラダ、パンパンジードレッシングがつきます。あと、それからデザートとして豆乳アイスをつけます。この献立なんですけれども、しょうゆラーメンは学校給食の中でも児童・生徒に大人気の一品です。子供によっては、前の日から献立を見て、あしたはラーメンだということで非常に楽しみにしているみたいな話も聞いております。そういうような大人気のメニューを出します。あと、春巻や中華サラダをつけた中華風の給食ということで出すと考えております。

あとデザートなんですけれども、まだまだ9月半ばで暑い時期ということで、豆乳アイスを提供します。こちらは、私も実際に豆乳アイスを試食させてもらったんですけど、普通のアイスクリームと全然変わりがないというか、むしろおいしいぐらい。非常にコクがあるものなんですけど、小麦、乳、卵、そういったものを使っていないというものになっております。アレルギー等ある子も今は非常に多くいますので、そういった子の中でも食べられる人が増えるんじゃないかということで、より多くの児童・生徒に食べてもらえるというものになると考えています。

あと、可児市の学校給食でアイスクリーム類を出すのは平成30年以来4年ぶりということで、子供たちの間でも随分前に1回食べたなみたいな子は、中学生とかはいるかもしれませんが、小学校中学年・低学年の中だと初めて給食に出るということで、ちょっとしたサプライズみたいなこともあるのかなと思えます。そういったことで、このメニューを9月15日に実施していきます。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今、各課から報告等ございましたが、御質問、御意見ございますでしょうか。

○ **教育委員（長井知子君）** 参考までにお聞きしたいんですけども、豆乳アイスが4年ぶりということで、これはやっぱり冷菓だから、運ぶまでのそういったのが難しくて今までなかなかできなかったということですか。

○ **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** そうですね。やっぱり解けるみたいなこともあるというふうに聞いております。

○ **教育委員（長井知子君）** 分かりました。ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしかったでしょうか。

○ **教育委員（丹羽千明君）** 学校教育課長にお願いします。

ゾーン30について、詳しい御説明ありがとうございました。今後こういったものを、交通安全に対して必要だと思うんですが、市内に広げていくということでいいんでしょうか。あと、ハンプって、段差のあのことですか。

- **学校教育課長（佐野政紀君）** 設定地域につきましては、今2地区あるところに新たに2地区ということで、こちらにつきましては、規制の関係やハード整備から警察や道路管理者で設置されるということで聞いていますので、地域の要望をいただきながら、年に1度実施される検討会議で承認されることが必要になるかなというふうに思っております。

ハンプにつきましては、今補足いただきましたとおり、車を運転していて道路がちょっと上がるといいますか、減速をしていくためにする措置だというふうに解釈いただければなと思います。ちょっとこの写真では分かりづらいんですけども、ちょっと道路が浮き上がっているというイメージを持っていただければと思います。以上です。

- **教育委員（丹羽千明君）** 地域の御理解がやっぱり必要かなあと。今まで40キロだったのを30キロにするというのは、住民の同意が要するというふうに伺っていますので、地域の方と学校と教育委員会とよく連携を取ってお願いしたいと思います。以上です。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

ほか、よろしかったでしょうか。

- **教育委員（小栗照代君）** コロナの件ですけれども、かなり増えてきて、お子さんでもかかっていらっしゃる方もいらっしゃるようですけれども、後遺症の問題がやはり出てきていて、一応治ったようでも、体がだるくて前のように体が動かないけれども、サボっているんじゃないかというふうな見方をされるということも、ちょっとニュースで出たりしていたんですけれども、その辺の可児市内でかかった方で、子供さん、小・中学生で後遺症の件はいかがでしょうか。何か問題は出ているんでしょうか。それとも、そういった調査とかしていらっしゃるということも教えていただきたいんですが。
- **学校教育課長（佐野政紀君）** 特別な調査はしておりませんが、日々報告が学校から入りますので、そのときに、その後の状況はどうですかということについては担当のほうから問い返しをさせていただいています。

私に対応した中では、例えばまだせき込むと。もう解除されたんですけども、せき込むお子さんがいるということであったり、苦味とか辛味が、ちょっとそのお子さんは以前とは違った感覚になっているというようなことを聞いたことがあります。倦怠感も含めて、罹患されたお子さんについては、心配事案は当然学校ではその後の見届けをしていくことになりますので、そこについても校長会や教頭会が8月に予定されていますので、かなりの陽性率でしたから、そういった見届けも養護教諭さんを含めてアンテナを高くしてくださいねというアナウンスはさせていただこうと思っています。

- **教育委員（小栗照代君）** よろしくお願ひします。
- **学校教育課長（佐野政紀君）** おかげさまで、今のところ病院に入らなければならないというような案件については、可児市では報告は入ってきていません。
- **教育委員（小栗照代君）** 分かりました。ありがとうございます。
- **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしかったでしょうか。

[挙手する者なし]

ありがとうございました。

学校の教職員は、子供たちの夏休みに入って、やれやれというところの期間なんですけれども、教育委員会事務局各課におかれましては、本当に誠意ある取組を続けていただいております。本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

#### 委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** では、続きまして教育委員からの提案協議事項についてを議題といたします。

何かありますでしょうか。よろしいですか。

[「なし」の声あり]

#### その他

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、ないようですので、次、その他に移ります。  
次回の日程等について。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** 先回の教育委員会会議の場で、9月13日火曜日午後から教育委員会会議と総合教育会議、2つの会議を開催することで調整させていただくという旨、お伝えしておったんですけれども、電話等で委員の皆様には既に調整させていただきましたが、9月13日は午後2時からの総合教育会議のみとさせていただきます。教育委員会会議は9月30日金曜日午前9時からでお願いしたいと思います。場所につきましては、9月13日、30日ともに5階の第1委員会室でございますので、お間違えのないようお願いいたします。  
また10月の日程ですけれども、10月14日金曜日9時からはいかがでしょうか。  
よろしいですか。
- **教育長（堀部好彦君）** 14日やったっけ。この日って学校訪問が……、僕のメモだと。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** ちょっと今確認してきます。
- **教育長（堀部好彦君）** 失礼しました。僕持ってこなんだ。東可児中。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** そうしたら、またちょっと別日を提案、御連絡させていただきたいと思いますので、10月につきましては保留ということをお願いいたします。以上でございます。
- **教育長（堀部好彦君）** この辺り、学校職員課訪問の動向が結構前後に続きまして、課長さん、すみませんでした。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** いえいえ、とんでもありません。ちょっと私が確認不足でした。
- **教育長（堀部好彦君）** よろしく願いをいたします。  
教育総務課長、よろしかったですか。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** また10月の日程については、追って調整して連絡させていただきます。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

委員さん方、申し訳ありません、休憩ですが、今回なしとしてよろしいですか。続きの、この会議後の話題もごございますので、すみません、よろしく申し上げます。ありがとうございます。

(以下非公開)

(以上非公開)

#### 閉会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** 以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。お疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会 午前10時41分